

平成 18 年 3 月 3 1 日

新設ダムの検討項目と評価

伊藤益義

項 目	新規ダム
位 置	既成市街地の直上流の本川の武庫川渓谷出口付近
ダム規模	ダム天端高 120m、堤高 73m、堤頂長 160m 洪水調節容量 11,250 千 m <sup>3</sup> 、常用洪水吐 上下各 2 門の 4 門
治水効果	本川最下流、市街地直上のダムとして治水効果が大きい 1/100 の降雨時の治水効果のほか 1/30、1/15 (16 年 10 月降雨) 時の治水効果についての検証が必要
技術的な観点	基礎岩盤はあるが、表層はもろい地層 六甲山で見られる地盤の上昇活動の影響 湛水試験時の洪水吐閉鎖方法はどうか(ゲート他)
自然環境への影響	ダム建設工事による影響 工事用道路、転流路の場所方法によっては自然環境に影響を与える 工事完了後の復旧計画によっても影響が出る 濁水の下流への影響 大型重機の騒音、粉塵
	ダムの供用及び存在による影響 河道内、湛水域の自然環境への影響が大(渓谷内の貴重種が失われる) ダム上流部の水質汚染 ダム上流部兩岸の表層岩石、植生の崩落によるダム湖内兩岸岩石、土砂、樹木の堆積及び渓谷景観の喪失 擁壁、トンネルへの影響 廃線跡の枕木流失 減勢溝(水たたき)の環境破壊 魚類等の移動に支障
安 全	人口集中地直上の大型ダムによる破壊時の危険 工事中、湛水試験中の洪水の影響による下流部の安全確保
社会的影響	左岸側は一部を除き保安林指定 両岸は近畿圏整備法の緑地保全地区指定 ダムサイト、湛水域、工事用地、ハイキング道の買収が必要 横断構造物(道路、ハイキング道、橋梁、水管橋など)への影響 JR 武田尾駅への道路、橋梁付け替え、神戸市水道の付け替え 廃線跡ハイキングコースの付け替え(ダムサイト等、約 70m の登り降り) ダム本体、減勢溝等による景観、高座岩等の名勝喪失 渓谷の景観の喪失(兩岸の岩石、植生の崩落による兩岸の渓谷美、高座岩、溝滝等の武田尾八景ほかの景観) 桜の園の入口周辺の景観一変(満水時約 150m 奥まで浸水、崩落) 親水箇所等レクリエーション場所の喪失 ハイキングコースのエスケープルートが少なく(最大約 3.5 km の間になし)洪水時の避難指示に難がある 前回ダム計画にあったレクリエーション施設(多目的ホール?)は不要
運用・維持管理	保守点検、補修、改修、洪水後の洪水吐内土砂岩石等狭雑物除去、ダム底の堆積物除去(毎回必要) 洪水後のハイキング道(トンネル、橋梁等)の点検・清掃 上流河道内の流木等の常時除去 洪水吐内の常時監視システム 警報システム(洪水時、水量、ダム本体危険予知)
工事期間	5~6年
ダム工事費	300 億円(積算内容の検証が必要)

以上